
災害時に観光者が安心できる環境づくり検討WGウ 経過報告

- I. これまでの検討の枠組み
- II. これまでの検討結果
- III. 今後の検討方針

I. これまでの検討(災害時に発生しうる課題の洗い出し)の枠組み

1. 地震発生から30分～3時間 : 一時避難・・・「電力供給」「人員輸送」

- ・内宮前駐車場・浦田駐車場の2拠点への避難
- ・避難被災状況(被災状況、交通情報、避難者情報、災害関連情報等)の把握
- ・避難者に対する情報の発信
- ・公共との連絡による情報収集、現状報告、対応協議、必要な援助の要請

2. 地震発生から3時間後 : 本部の立ち上げ、避難拠点の集約・・・「人員輸送」

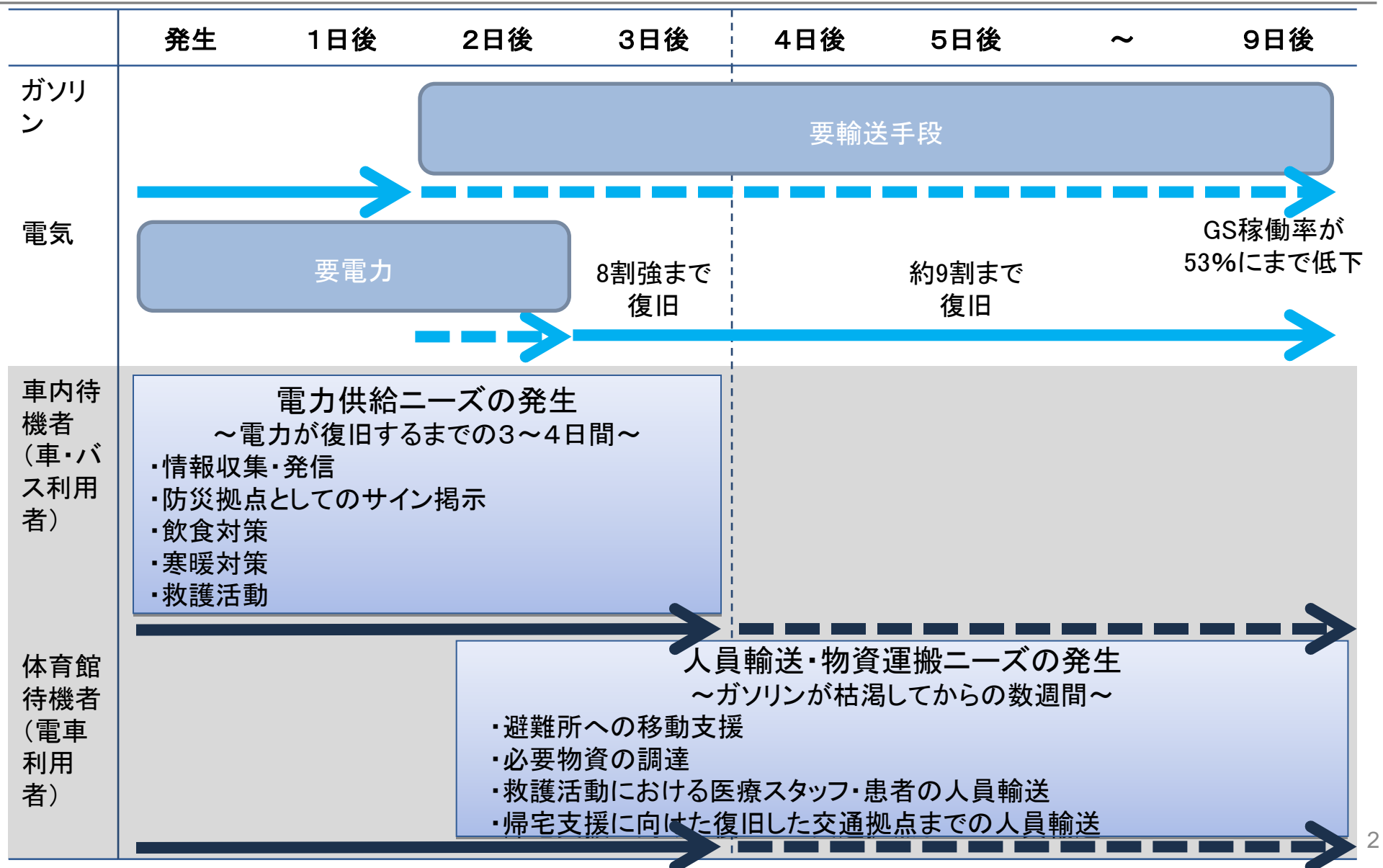
- ・浦田駐車場での本部(ボランティアセンター)の立ち上げ
- ・公共交通機関利用者のサブ体育館への移動

3. 地震発生から3時間後～数日間 : 本部の方針決定に基づく各拠点での避難者対応 ・・・「電力供給」「人員輸送・物資運搬」

- ・ボランティアセンターでの情報収集・発信
- ・各避難拠点での、情報発信、飲食対策、寒暖対策、救護活動などの活動
- ・(帰宅可能な状態になれば)帰宅支援

→期間:地震発生から3時間後～数日間、場面:「電力供給」「人員輸送・物資運搬」を、課題の洗い出し、それに対するEV等活用の、主な検討対象とする

Ⅱ. これまでの検討結果(洗い出された課題)



Ⅲ. 今後の検討方針

洗い出した課題に対し、以下の項目について具体的な検討を行い、EV等の活用方法を検討していく。

「電力供給」が必要な場面で想定される課題について

- ・課題への対応方法(電力供給以外の方法がないか)
- ・必要な電気機器
- ・EV等からの電力供給方法
- ・EV等の必要台数
- ・運用に必要なソフト面(ルール、訓練、啓発等)

「人員輸送・物資運搬」が必要な場面で想定される課題について

- ・課題への対応方法(輸送・運搬以外の方法はないか)
- ・輸送する人数、運搬する物資
- ・移動距離
- ・移動頻度
- ・運用に必要なソフト面(ルール、訓練、啓発等)

検討の対象地域：伊勢おはらい町(昼間に集客)、二見地域(夜間に集客)